

あしや 市議会 だより

2019年5月
No.108



「やる気いっぱい 元気いっぱい」を合言葉に!



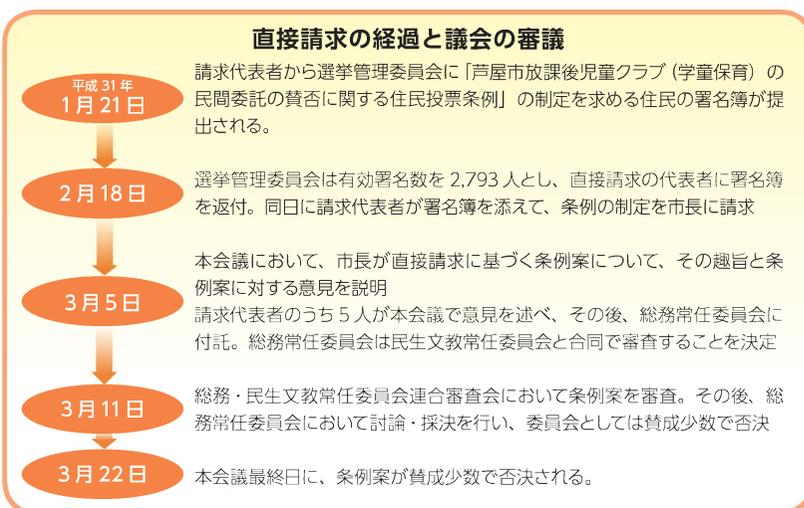
潮見
幼稚園

芦屋市の浜手、シーサイドタウンの西側にあり、歩道・自動車の通らない緑道・歩道橋が整備された通園しやすい公立幼稚園です。「健やかでたくましい心と体の育成」(①しっかりと体づくり、②思いやりのある心、③みんなで協同する経験)を教育目標にしています。

- 直接請求
- 注目の議案をPickup
- 平成31年度(2019年度)予算
～新年度事業を問う!～
- 総括質問

芦屋市議会は、市民の皆さまにより分かりやすく、親しまれる議会だよりを目指しています。
ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。

直接請求の経過と議会の審議



※直接請求とは、選挙権を持つ住民の 50 分の 1 以上の署名によって、住民が直接、条例の制定・改廃請求などを行うものです。

委員会での主な質疑

議員 住民投票にどの程度の費用が発生するのか。

市 住民投票のみを行った場合は約 2,400 万円。統一地方選挙と同時執行となれば、約 800 万円の費用がかかるかと試算している。

議員 子育て支援策の一つを住民投票で諮ることはあるのか。

市 事業手法の選択を住民投票条例の対象としている自治体はほとんどない。

議員 現在働いている指導員は 4 月以降どうなるのか。

教委 直営が 12 学級から 7 学級に変更になるので、その分、指導員の体制を充実させることができるかと考えている。

議員 委託先の指導員の雇用や処遇などについて、行政はますますものが言えなくなるのではないのか。

教委 官・民 2 つの主体で人員確保に努めることになるため、人員はより確保しやすくなるかと考えている。また、民間委託であっても、市が仕様書に基づいてコントロールしていく。

議員 間接民主制を補うために直接請求制度があるのではないのか。

市 市の決定を補完するような意味合いもあるが、今回の直接請求は住民投票にはなじまないかと考える。また、昨年の 9 月議会において事業委託に係る予算案も可決されており、市民の意思は反映されているものと考えている。

議員 空き教室の将来的な見込みについてどのように考えているのか。

教委 今後児童数が減ってきたら、教室が空いてくると考えている。自校で事業を実施するのが一番望ましいとの考えに変わりはない。



本会議での賛成討論

- 市は、昨年の 7 月 5 日に保護者や関係者に民間委託の話をしてから、わずか 2 カ月足らずで民間委託に係る予算案を議会に提案しており、提案に至るまでの過程が強行だったと言わざるを得ない。
- 指導員不足への対応については、市としての努力が尽くされたとは言いがたい。
- 市長の意見の中に「住民投票は市政の極めて重要な事項について行われるべき。」とあったが、約 8 万人の有権者のうち、住民投票を求める 2,793 人の意見は重要な事項に当たるのではないかと。
- 住民の意思や民意が反映されていないことから、今回の直接請求が出されている。このことに市は真摯に向き合うべきである。
- 議会基本条例に基づき、参考人を招致できなかったことは本当に残念である。
- 保護者説明会での市と事業者との回答に大きな違いがあり、保護者と指導員は市への不信感と事業者への不安をますます募らせている。市がインシアチブを持たなければならぬ委託契約であるにもかかわらず、事業者任せになってしまっている。
- 保護者の不安は市の説明不足にも原因があり、これまでボタンのかけ違いがずっと続いてきたと感じている。市の説明不足に対する保護者の不安が、今回の直接請求としてあらわれたと考えるため、賛成する。

本会議での反対討論

- 直接請求は住民の権利として否定するものではないが、住民投票の対象とすべき事項は、市政の極めて重要な事項について行われるべきである。今回の民間委託は単なる事業の実施手法の変更であり、住民投票の対象にはなりにくい。
- 住民投票は、受益者が特定のサービスや年代に限定される事業を対象にするのではなく、有権者の全体もしくは大半の方が多少なりとも影響を受けるであろう事業が祖上にのせられるべきである。
- 拠点校方式で校区外に通級することは望ましいやり方とは思わないが、経過措置としてはやむを得ないと考える。児童が自分の校区で放課後を過ごすことができるよう早期の対応を求める。
- 学童保育の民間委託のための予算は、昨年 9 月議会ですでに可決していること。加えて、一部の学級を民間に委託することになった背景には指導員不足という課題があったためであり、今後、小学 6 年生までの受け入れをしていく中で待機児童を出さないためには、民間委託しか解決方法がないと考える。
- 直接請求は間接民主制を補完するものであるが、近年、補完という趣旨を逸脱するような偏った住民投票が行われているということも否めない。
- 今回の直接請求は、素直に安心して子どもを預けたという訴えであると受けとめているが、住民投票に費やす時間と経費を学童保育の運営の見直しに使うべきだと考えるため、反対する。

市長の意見

住民投票は間接民主制を補完する手法の 1 つであると考えているが、住民投票の対象とすべき事業は、市および市民全体に重大な影響を及ぼすなど、市政の極めて重要な事項について行われるべきものである。

加えて、住民投票には通常の選挙と同等の経費が必要であることから慎重に実施すべきであること。また、事業委託に係る予算案は平成 30 年 9 月定例会で可決されており市民の意思は反映されていると考える。

今回の事業委託については、喫緊の課題である待機児童の解消と安定した事業の継続には不可欠な手法である。

直接請求の要旨にある市民参画については、保護者や関係団体に説明をし、さまざまな意見をお聞きしてきたところであるが、今後も児童や保護者の不安が少しでも解消され、スムーズに移行できるように進めていく。

以上の理由から、この条例案に賛成することはできない。

請求代表者の意見

保護者への説明と理解が必要であるにもかかわらず、その時間も議論も十分ではない。

今回の民間委託のほうが施設公営よりも費用が多くかかる。

すぎのご学級(岩園小学校)を 2 学級運営にする目的で、7,300 万円超の費用をかけて改修工事が行われたが、完成からこれまでの間、1 学級運営としてきたために待機児童を出し続けてきた。

岩園小学校に利用可能なスペースがあるにもかかわらず、1 年間限定で朝日ヶ丘幼稚園内に民間事業者による学級(にじいろ学級)を開設。学校間の移動を余儀なくされることから、利用は難しいと判断した家庭も多く、定員 40 名に対し利用者はわずか 8 名だった。このような状況下で、送迎方式を前提とした民間委託が進められている。

教育委員会は「保護者会にはこれまで十分に説明してきた」と発言しているが、昨年の 7 月 5 日に初めて民間委託案が示されている。その後十分話し合いに応じず、保護者は大きな不安を抱えている。

※1 放課後児童クラブ(学童保育)の民間委託[市の方針]

- 指導員不足への対応や平成 31 年度に待機児童を解消するという目標を達成するため、民間事業者に業務を委託するもの
- 1 市内 8 小学校のうち、なかよし学級(宮川)、わんぱく学級(山手)、すぎのご学級(岩園)、らいおん学級(浜風)の 4 小学校の学級を民間委託
 - 2 山手園域の小学校において受入可能枠を超えた場合、拠点校である「すぎのご学級(岩園)」で受け入れ
 - 3 精進・湖見園域の小学校において受入可能枠を超えた場合、拠点校である「らいおん学級(浜風)」で受け入れ
- ※長期的には各小学校内での運営を目指していくが、短・中期的な対応策として、拠点校方式を実施

※ 10 ページ「賛否の分かれた議案」(第 35 号議案)に、今回の直接請求にかかる条例案の賛否(議員ごと)を記載しています。

注目の議案

平成31年
第1回定例会
2月19日～
3月22日
32日間

定例会では全部で40件(市長提出議案…35件、議員提出議案…1件、陳情…4件)の議案等が審議されました。
今号では、この中から4つの議案をピックアップして紹介します。

Pick up 1

平成30年度芦屋市一般会計補正予算(第5号)(第3号議案)

年度末に当たり各種事業費や財源などを確定

可決
(全員一致)

プレミアム付商品券事業

【内容】
本年10月の消費税率の引き上げに伴い、地方公共団体が販売することになったプレミアム付商品券の準備作業に着手するための経費(682万2千円)を追加するもの。

【意見・要望など】

- 市民税非課税世帯の方が対象となつているが、商品券販売時のフラッシュの保護については特段の配慮を求め。
- 市内での利用者を想定しているが、利用者にとって使い勝手のいい事業となるよう求める。

水面監視カメラの設置工事

【内容】
昨年9月に発生した台風21号による高潮被害を踏まえ、海岸や河川の現地の状況をリアルタイムで監視できる水面監視カメラの設置工事費(1,800万円)を追加するもの。

質疑

Q カメラの設置理由と設置場所は？
A 昨年9月の台風21号の際に、現地の状況をリアルタイムに把握できなかったために設置するもので、南芦屋浜地域の南護岸と東護岸、キャナルパーク、宮川の溢水した付近の計4カ所への設置を予定している。

Q 今後、水面監視カメラをどのように活用していくのか。
A カメラは現地の状況を確認するための一つのツールとして考えており、災害対策本部で今後の対応を判断する一助になると考えている。

【意見・要望など】

- 人の手が届かないなど、カメラの設置場所については十分に配慮してほしい。
- 今回の設置は台風21号の高潮対策を急ぎに置いたものという点だが、今後その辺りもしっかりとPARしてほしい。

Pick up 2

芦屋市立あしや市民活動センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正(第14号議案)

あしや市民活動センターの施設使用料などを決定

可決
(全員一致)

【内容】

公光分庁舎北館の全棟をあしや市民活動センターとして供用を開始することに伴い、施設使用料等を定めるもの。

質疑

Q 新たに設置するオープンスペースについて、市民の方からこれまで全面を希望していたといった要望があったのか。
A 特に要望があったというわけではないが、新たな交流から市民活動につなげていく仕掛けとして、全面を使った利用も検討していただけだと考えている。

Q オープンスペースの使用料が高いのではないのか。
A キッチン設備のある市内公共施設を参考に料金を設定しており、今回は市民センターの料理室とほぼ同じ考え方で積算している。

【意見・要望など】

- 今後施設を利用する団体などの意見を聞き、使い勝手のいい施設となるよう要望する。
- 公平・公正な見地から市民活動センターの登録団体を選定してほしい。
- 今回、市民活動センターがリニューアルされる中で、イベントができるスペースを比較的低い料金で借りることができると期待していることを行政はもっとPRし、施設がより活発に使われることを期待する。

Pick up 3

平成30年度芦屋市都市再開発事業特別会計補正予算(第2号)(第6号議案)

可決
(全員一致)

都市再開発事業費の減額や繰越明許費※の設定など

【内容】
●JR芦屋駅南地区における再開発ビルの実設計業務費を平成31年度にあらためて計上するため、減額するもの。
●再開発ビルの譲り受けを希望する地権者が当初の見込みより増加したことに伴い、不要となる用地取得のための経費を減額するもの。
●平成30年度に予定していた委託業務や用地取得業務の年度内の完了が困難となったため、繰越明許費を設定するもの。

※繰越明許費とは、何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費について、次年度に繰り越して使用することができる経費のこと。

質疑

Q 事業が遅れている理由は？
A 地元住民や商売を長く続けてこられた方の思いと、市が示している金額のすり合わせに時間を要しているためである。

Q 再開発ビルへの誘導に関し、行政としては善ぶべき方向に動いているのか。
A 地権者の多くは現在公表中の建物パースに非常に興味を示されており、このマンションに住みたい、という声も聞いている。

Q 用地取得の提示価格が低すぎる、という声を地権者から聞いているが、その点について行政はどのような認識か。
A 公共事業であるため、適正価格で交渉を繰り返しており、その中から合意点を探っていく。

【意見・要望など】

- 地権者に対し、引き続き丁寧な対応を求めることにも、事業の経過や詳細については、広く市民に周知してほしい。



JR芦屋駅から南側の交通広場や再開発ビルを鳥瞰したイメージ図
※駅コンコースと再開発ビルはデッキ(歩行者用通路)でつながれる予定ですが、デッキの形状等については現在検討中のため、図には書き表していません。

Pick up 4

芦屋市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正(第18号議案)

可決
(全員一致)

阪神打出駅南に駐輪場を新たに設置

【内容】
●阪神打出駅南に駐輪場を新たに設置することに伴い、使用料等を定めるもの。
●場所は国道43号の打出交差点の南東側にある環境防災緑地で、収容台数は45台(定期使用のみ)。
●管理は市営の駐輪場を管理する指定管理者が一括で行う。

【意見・要望など】

- 歩道橋下が駐輪禁止であることをしっかりと周知してほしい。
- 一時使用に比較的余裕があることや、今回の整備で定期使用の収容台数が増えたということをしっかりとアピールし、違法駐輪の解消に努めてほしい。

質疑

Q 駐輪場の概要は？
A 収容は平置きで、定期使用のみとする。管理人は常駐せず、阪神打出駅北側の駐輪場の管理人が巡回する。完成は6月頃を目指している。

Q この地域の一時利用の利用率は？
A 満車の時期もあったが、今は8割弱で推移している。

Q 今回の増設がこの地域の需要は満たされるのか。
A 民営の駐輪場を含め、利用率を注視していく。

Q 指定管理者との契約金額に変更はないのか。
A 阪神打出駅北側の駐輪場の管理人が巡回できるため、新たな支出は考えていない。4月からの指定管理者は、今後想定される施設の増減にも対応できる要件で募集していた。



平成31年度 予算

平成31年度(2019年度)予算が 成立しました

第20号議案 平成31年度芦屋市一般会計予算ほか11議案

新年度事業を問う! 各分科会での意見・要望(抜粋)

管理処分計画の決定、用地取得・補償、
関連公共施設の詳細設計などを実施

JR芦屋駅南地区の市街地再開発事業の推進

17億4,153万6千円

- ベデストリアンデッキについては、シンプルなものにして費用を抑えるよう求める。
- 駅のホームに設置するエスカレーターは全工期の後半に工事予定だが、駅利用者のニーズが高いことから早期の設置を要望する。

保育サービスの充実 放課後児童クラブでの全学年の受け入れ と民間事業者への一部委託を開始

放課後児童クラブ委託事業 1億1,071万3千円

- 4月からの放課後児童クラブにおける延長保育を全学級で適切に実施するよう求める。
- 強引な民間委託化が体制上に無理を生じさせている。保護者の不安や疑問にしっかりと向き合った対応を求める。
- 市は民間委託化が学童の質を高めるとしたが、その内実が見えてこないのが問題である。

さくら参道(朝日ヶ丘町)の道路舗装工事と 桜の植樹工事、JR芦屋駅南地区周辺の設 計などを実施

道路の無電柱化の推進 2億1,855万4千円

- 大規模な掘削等により近隣住宅の被害が起らないよう留意し整備を進めてほしい。
- 無事に桜の植樹工事を終え、さくら参道を復活させてほしい。



保育サービスの充実 保育所等に看護師を配置し、体調不良 の子どもへの対応を行う施設を拡充

病児保育事業(体調不良児対応型) 8,304万9千円

- 体調不良児対応型の事業を全私立園で実施するよう求める。

保育サービスの充実 私立園の保育士等をサポートするために、 一時金支給制度と家賃補助制度を創設

保育士・保育教諭活躍サポート事業 3,615万8千円

- 保育士・保育教諭の確保は近隣市との競争戦になっており、平成31年度からの事業の開始では対応が遅すぎるのではないかと。
- 児童数の多い市立認定こども園におけるフリー保育士などの確保を求める。



防災対策強化事業

防災行政無線改良工事 1億3,000万円

防災総合訓練および啓発に要する経費 1,441万7千円

- 防災行政無線は原則、屋外にいる方に向けたものであるが、聞き取れなかった場合に、直近の放送内容を確認できる電話自動応答サービスがあることを周知徹底するよう求める。
- 地域との関わりが薄くなりがちな若年層が防災訓練に参加しやすくなるようなPRや参加を促す取り組みを検討するよう求める。
- 防災の専門家は「自助が7割、共助が2割、公助が1割」と言っており、自助の大切さをさらに啓発する取り組みが必要である。



平成31年度(2019年度)予算案の審査が全議員で構成する予算特別委員会の各分科会(総務・民生文教・建設公営企業)で行われました。分科会では、行財政運営、市民生活、保健福祉、まちづくりなどの予算に関して、活発な質疑応答がなされ、多くの意見・要望が出されました。

審査の結果、一般会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計および三条津知財産区共有財産会計については、賛成多数で可決。そのほかの会計については

全員一致で可決しました。この審査結果は3月22日の本会議に送られ、採決の結果、445億円(前年度比△16億4,000万円、3.6%減)の一般会計予算を含む、総額836億1,918万円(前年度比△5,166万8千円、0.1%減)の予算が成立しました。

各会計予算に対する賛否は、10ページの「審議結果一覧(新年度予算)」をご覧ください。

図書館本館・打出分室・大原分室の 窓口運営等を委託し本館の開館時間を延長

図書館運営窓口等委託業務 4,802万1千円

- 図書館窓口の民間委託化は、図書館として守るべき市民のプライバシーに関して大きな問題がある。
- 図書館のリニューアルに伴い、図書館をもっと身近に感じてもらえるようなツアーを企画してはどうか。

大東公園トイレのバリアフリー化

大東公園便所棟建て替え工事 1,963万5千円

- 公園トイレの整備については優先順位をつけ、速やかに改善するよう求める。
- 公園トイレの建て替えを予定している公園以外でも更新を望む声は多い。建て替えが難しくても改修工事に対応可能な施設については工事の前倒しを要望する。



あしやふるさと寄附を推進

あしやふるさと寄附推進事業 4,063万5千円

- 国が責任を持つべき地方への財源配分が不十分であるにもかかわらず、自治体間競争で財源確保をさせる愚策である。
- 本市の場合は寄附金控除により、市税の減収が多額になっている。制度的なものだが、本市に寄附を誘導する取り組みが必要である。

その他の主な事業

- ◇防災情報マップ(洪水・高潮)作成事業
- ◇災害用非常備蓄品(食料・水等)の購入
- ◇街路樹更新指針の策定
- ◇精道村発足130周年記念事業「芦屋と阪神間モダニズム」
- ◇救急安心センター(＃7119)事業
- ◇介護人材養成支援事業
- ◇精道中学校施設整備事業
- ◇合葬式墓地等建設事業
- ◇ヘルスアップ事業
- ◇山手中学校施設整備事業
- ◇東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会民間派遣研修事業 など

本市の魅力をも高める取り組み (旧宮塚町住宅を改修し女性の活躍支援や 商業的にぎわいの創出、本市の学校給食を 題材とした映画制作への支援など)

シティプロモーション費 300万円

魅力資源を活用するプロジェクト(エアブランディング) 3,350万円

市制80周年に向けた関連経費 1,240万円

- シティプロモーションを実施する目的を明確にし、具体的に東京圏からの転入が何件あり、どの程度の効果があったのかを明示するよう求める。
- 国の総合戦略の一つであるまちの魅力発信事業や女性活躍推進事業に、市が3年間で8,000万円超をかけることの効果も本当にあるのか疑問である。日々の暮らしへの施策が優先されるべきではないか。

公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進

公共施設等総合管理計画に要する経費 68万7千円

- 人口減少や社会保障費の増加などの要因を公共施設等総合管理計画に随時反映させてほしい。
- 公共施設等の残存耐用年数から、大規模改修の中規模改修なのかをコスト面から選択すべきである。
- 公共施設は市民の財産であり、まちの魅力発信や地域の活性化に寄与してきたため、適正化を理由に統廃合を強行すべきではない。市民合意を重視するよう求める。

予算に対して会派から一言

あしや真政会

今後、本市でも少子高齢化が加速するとともに、人口減少社会を迎える。これに手をこまねいて何もせずに見過ごすのか、それとも、現役世代の流入を促進する施策によって、積極的に人口増加を図っていくのか、その分水嶺に立っている。こうした中で、新年度予算は「安全・安心」「住宅地としての魅力向上」「子育て」「教育」に重点を置いた施策で展開が図られており、会派として評価している。これからも多くの方に選ばれる「住み続けたいまち・住んでみたいまち芦屋」となるよう期待する。

公明党

新年度の一般会計は、445億円(前年度から約16億円減)とやや縮小した予算だが、不要不急の施策を精査し、より効果的な財政運営を求める。このような中であっても、頻発化、激甚化する自然災害への対応は喫緊の課題である。併せて、本格的な少子高齢社会への対応も待ったなしである。景観にも配慮した高潮対策の早期着工、保育士の確保や離職防止対策の着実な実施を求める。また、本年10月からの幼児教育無償化に向けて、混乱を招かない対策や教員のさらなる負担軽減策の実現を求める。

日本共産党

山手・精道中学校の建て替えや防災対策の予算などが含まれており評価できるものもあるが、国の社会保障の改悪と本年10月からの消費税10%への増税による影響は市民の暮らしに一層の厳しさと不安をもたらしている。市民の声を聞き、暮らしに寄り添った自治体の役割が十分に果たせていないのではないかと。学童保育の民間委託についての民意を問う直接請求が市民から出されたように、市民無視の行政のあり方が問われている。また、図書館窓口を含めた教育分野での民間委託の拡大は公的責任の後退につながる。

日本維新の会

健全な財政運営に努めている点を評価する。しかし、10年後の剰余金と基金(預金)の残高が急激に減少するとの見込みについて、大変強い危機感を持っている。事業の取捨選択と業務効率化を進め、基金が底をつくことを避ける必要がある。また、少子高齢化の進行による将来的な市税収入の減少と、社会保障費の増加を懸念する。介護予防等による社会保障費の抑制も積極的に進める必要がある。今後は、歳入増と歳出減を意識し、安定的かつ持続可能な行財政運営を求める。

毎年3月定例会では、各会派の代表者が市長の施政方針に対して質問を行います。その一部を紹介します。

あしや真政会

質問者：松木 義昭

今後の行財政運営について

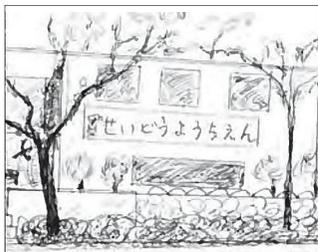
議員 平成31年度予算編成に当たった基本方針は何か。

市 行財政運営については、人口減少の抑制に向けて、芦屋市創生総合戦略に基づき社会増を目指す取り組みを進めている。平成31年度予算編成では「住宅都市としての魅力向上および「将来の人口減少又は人口構成の変化への対応」に重点的に予算配分することなどを基本方針としている。

市 当初、西蔵町市営住宅跡地は売却の予定であったが、その後認定こども園となった。その代替財源として、精道幼稚園の売却を考えているのはないのか。

市 精道幼稚園については、精道こども園の移転（※）後の状況を踏まえて判断していく。

※精道こども園は本年4月に精道幼稚園敷地を開園し、その後2021年4月に精道保育所敷地へ移転予定。



3月末で閉園となった精道幼稚園（イラスト：松木義昭）
（4月以降は精道こども園として新たに開園しています）

参画と協働について

議員 旧宮塚町住宅は女性の起業家を支援しているという目的で、昨年9月から12月にかけてワークショップが実施された。当初は市は応援する姿勢を見せていたの期待をしていたが、管理も事業者任せであり、資金力のない女性起業家は排除される仕組みになっている。市は参画と協働をどのように考えているのか。

市 市民参画と協働は、市民が市の施策の企画立案などの過程に参加することで、それぞれの役割と責務を自覚し、協力することにより、まちづくりにつながるものと考えている。当該ワークショップの目的は、起業を意識し、参加者の思いを実現するためのプロセスを学ぶことであり、活動場所をリノベーション後の旧宮塚町住宅に限定したのではない。今回の入居者募集ではワークショップに参加された皆さまからも申し込みをいただいている。

- ◆その他の質問
- ・SDGsの本市の取り組みについて
- ・健康づくりの推進について
- ・環境問題について
- ・臨港線以南の地域のまちづくりについて
- ・芦屋の子どもたちの体力増強策について
- ・文化財の保護について

公明党

質問者：帰山 和也

少子高齢対策について

議員 子育て支援策として、小児インフルエンザワクチン接種への助成制度の創設を求めているがどうか。

市 公費助成は国県や近隣市の動向を注視しながら研究していく。

議員 女性特有のがん検診の受診率向上策について問う。

市 無料クーポン券の送付、ホームページや乳幼児健診等の機会を通じて周知・啓発に努めている。平成30年度は、潮音屋交流センターでの乳がん検診や広報あしやに特集記事を掲載するなど、取り組みを行ったので、それらの効果を検証しながら拡充を検討していく。

議員 救急安心センター（#7119）事業で、救急搬送の適正化を求めているがどうか。

市 平成31年度からの事業実施により、急病等の不安の解消と医療相談の減少の効果が期待している。神戸市では、医療機関への相談件数の減少が報告されており、本市でも同様の効果が期待されている。



議員 私立保育施設の保育士等への一時金支給制度と家賃補助制度の具体策について問う。

市 一時金支給制度は、私立保育施設に新規採用となった正規保育士等に最大7万円で160万円を支給し、非

正規の保育士等には1回に限り10万円を支給するもので、既に勤務している保育士等にも一部支給できることとする。

家賃補助制度は、私立保育施設に勤務して10年以内の正規保育士等に対し、月額最大8万2千円を補助するものである。

議員 防災行政無線が聞こえない地域への対応は？

市 平成31年度に増設6カ所、取り替え39カ所の整備を予定している。また、防災行政無線を補完する手段として、自動応答電話や防災ネット、緊急告知ラジオ等の普及・啓発を図っていく。

議員 防災倉庫の備蓄品に液体ミルクや新を加えるかどうか。

市 液体ミルクの備蓄は民間事業者との協定も考慮している。新は地域において要望があり、備蓄スペースの確保や定期的な訓練等の実施が可能であれば、拠点避難所において備蓄していく。

- ◆その他の質問
- ・旧宮塚町住宅の活用について
- ・ひょうご保育型軽減事業の拡充について
- ・体調不良児対応型の病児保育について
- ・ピロリ菌対策について
- ・学校給食の安全性について ほか

日本共産党

質問者：平野 貞雄

市政への市民参加での大きな後遺に反省はないか

議員 市政への市民参加で大きな後遺が生じている。南芦屋浜地域での小学校建設の一方的な撤回や、商工業者などからの批判を押しのけた屋外広告物条例の制定、市立幼稚園と保育所の統廃合、学童保育の民営委託など、その政策決定の仕方が市民の参画と協働に反する。

市 市営運営については、これまで市政の責任として、将来負担に留意しつつ、重要性や緊急性などを総合的に検討した上で施策を決定し、議会や市民の皆さまに速やかに公開説明を重ねる中で意見をいただくなど理解を得られるよう努めてきた。

議員 主権者としての市民の位置づけを明確にする自治基本条例の制定を求めているがどうか。

市 本市では、芦屋市民参画及び協働の推進に関する条例があることから、自治基本条例の制定までは考えていない。



芦屋市の掲げる「市民の参画と協働」「市民との信頼関係」がいま...

- ◆その他の質問
- ・市民生活に対する現状認識について
- ・財政執行上の基本点について
- ・平和行政の今後について

日本維新の会

質問者：大原 裕貴

屋外広告物について

議員 「本市にふさわしい広告景観形成を進めるとは具体的にどのような姿を想定しているのか。市内の現状を見ると、条例の着地点について、市と事業者との意識共有が重要ではないかと懸念する。

市 本市のまちなみをどのようにしていきたいのかという具体的なビジョンを示し、そこに賛同していただかなければ、景観は根本的に変わらないと考えられるがどうか。

市 屋外広告物条例については、本市が線量が美しいまちなみの住宅都市として発展してきた背景から、他市に例を見ない先駆的な基準を定めることで、周辺景観と調和の取れた、より魅力のある都市景観の創出を目指したものである。そういった趣旨への理解や協力が得られるように努めることにも、他の景観施策と併せてさらなる景観意識の醸成を図っていく。



屋外広告物条例の着地点と目指すまちなみを明確にし、他市に誇れる景観をつくり上げる必要がある。

- ◆その他の質問
- ・インターネットを用いた市民センター制度について
- ・配備者等からの暴力の防止について
- ・病児保育事業について
- ・讀書活動について
- ・国民健康保険医療費適正化対策について
- ・JRR芦屋駅南地区の商業について ほか

議会のナゼ？
なに？
再発見！

議会クイズ 第26回

？問題

本年4月の統一地方選により選ばれた議員の任期は6月11日からですが、平成7年から生じている選挙日と任期開始のずれの原因は何でしょうか？ (出題者：福井利道委員)

- ①議会の解散
- ②阪神・淡路大震災
- ③(近鉄)野茂英雄の大リーグ挑戦

前回のクイズの答え

「昭和21年に「駅前広場」が都市計画決定され、72年を経て駅前再開発やバスロータリー設置などが検討されている再開発事業は、どの駅の周辺でしょうか？」の正解は、「②JR芦屋駅」でした。
※前回の応募件数は49件

正解者の中から抽選で3名の方に図書カード(500円分)を差し上げます。正解は、8月発行予定のあしや市議会だより109号で発表します。たくさんのご応募をお待ちしています。



議長、副議長による抽選会

■応募方法

「電子メール」または「はがき」にて、住所・氏名・年齢・電話番号・クイズの答え・議会や本誌に対するご意見やご感想を明記してご応募ください。
※メールで応募する場合、件名は「第26回議会クイズ応募」としてください。

■応募締め切り

令和元年(2019年)5月31日(金)まで
※当日消印有効

■応募先

〒659-8501 芦屋市精道町7番6号
芦屋市役所 市議会事務局
メールアドレス:gijityousa@city.ashiya.lg.jp



QRコード(メールアドレス)

※個人情報(賞品の発送以外)には使用いたしません。
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

市議会だよりの
点字版・朗読テープを
希望される方へ

目の不自由な方へ、2つのボランティアグループ(芦屋点字友の会・朗読グループ「あし笛」)のご協力により、あしや市議会だよりの『点字広報』・『声の広報』を、市議会だよりの配布とほぼ同時期に、それぞれのグループから該当の方へお届けしています。

詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

勇退される議員に花束を贈呈しました



(左から)いとう議員、森議員、岩岡議員、山田議員、長野議員、重村議員、中島かおり議員

本会議最終日(3月22日)に、本年6月10日をもって引退される議員のほか、市長選や県議会選に出馬するため失職される議員からお一人ずつあいさつをいただくとともに、花束を贈呈しました。

各議員のこれまでの活動に対し、今限りで引退される山中市長をはじめ、議員や当局出席者から温かい拍手が送られました。

6月定例会
日程(予定)

芦屋市議会では、本会議・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会を傍聴することができます。傍聴を希望される方は、日程が変更になることがありますので、ホームページなどでお確かめの上、ご来場ください。

月	火	水	木	金	土	日
6/17	18	19	20	21 本会議 (提案説明)	22	23
24	25 建設公営企業 常任委員会	26 民生文教 常任委員会	27 総務 常任委員会	28 委員会 (予備日)	29	30
7/1	2 議会運営 委員会	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問等)	6	7
8 委員会 (予備日)	9	10	11	12	13	14
15	16 議会運営 委員会	17 本会議(採決)	18	19	20	21

編集後記

市議会だよりがお手元に届くのは、新元号「令和」に変わっている頃でしょう。「令」の字は「清らかで美しい」、「和」は「まるくまとまった状態」を意味するそうです。4月の市議会議員選挙を経て、新たな議会が始まります。これまでの議会改革の歩みを止めることなく、これからも取り組んでいきたいと思えます。

【編集委員】
田原俊彦

○本会議委員会の開始は、原則午前10時からです。